

身体が繋ぐスポーツ・アート・カンフー



2025年7月17日(木)

19:00 ~ 20:30

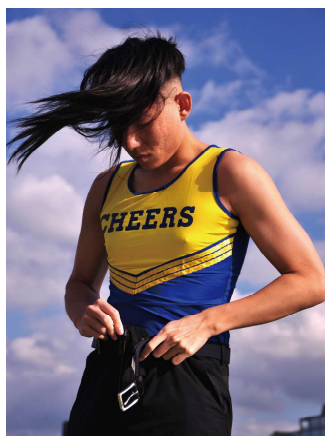
Zoom ウェビナーによる
オンライン開催



お申し込みはこちら

<https://s.rikkyo.ac.jp/en7g69vx>

申込締切：7月15日(火)



本講演「身体が繋ぐスポーツ・アート・カンフー」では、現代美術家・パフォーマンスアーティストである小林勇輝が、かつてプロテニス選手を目指し練習を積んでいたことや、アーティストとしての活動に至った経緯、パフォーマンス制作のために学び始めた中国武術「詠春拳」によって日常生活にまで様々な変化をもたらしてきたこれまでの活動を振り返り、いかにしてジェンダーを起点にそれぞれの身体性が繋がれてきたかを再解釈する。そして固定概念や先入観に基づく過去のスポーツ経験で感じた違和感や、交差的に絡み合う戦いの歴史を持つ武術・カンフーを実際に学ぶ過程から、身体を媒体として構築されるパフォーマンス表現を通して、性や人種的な規範を超えようとしてきたこれまでの試みを中心に講じる。

講師：小林勇輝氏（現代美術家・パフォーマンスアーティスト）

自身の身体を中性的な立体物として用い、性や人種的な固定概念に問いかけ束縛や流動性を表現。また自由と平等の不確かな世界の制限的な社会的コードを疑いスポーツや儀礼をテーマにしたプロジェクト「Life of Athletics」などを通して人間の存在意義を探る学際的パフォーマンス作品を発表。2019年パフォーマンス・プラットフォーム「Stilllive」を設立。2023年アジア・カルチュラル・カウンシル（ACC）個人フェローシップ、ビジュアルアーツ部門受賞。2024年香港詠春體育会、袁炎強詠春國術會の両団体より師傅を授与され武術家としても活動を始める。2025年度アーツコミッション・ヨコハマ（ACY）アーティスト・フェロー。

主催・お問い合わせ：立教大学ジェンダーフォーラム <https://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/gender/>
TEL：03-3985-2307 E-mail：gender@rikkyo.ac.jp

